

# 事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	1			作成日	平成25年9月30日		
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成 24 年度事業		
	項	1	健やかに暮らせるまちづくり	課等名及びグループ名	福祉課 社会福祉グループ		
	節	1	安心して子育てができる環境づくり	記入者 職氏名	課長補佐 吉成 正雄		

## 【事務事業の概要】

### I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事務事業名		保育料サポート事業	
事業概要	対象	保育所入所児の保護者	
	目的	保護者の保育料の軽減及び保育費の軽減	
	実施内容	<子育てに係る経済的負担の軽減> 保育所保育料について、平成22年10月から24年3月までは全額無料としたが、平成24年度から世帯の所得税及び住民税の課税状況に応じて無料から20,000円としている。	

### II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	
	款	3	民生費			
	項	2	児童福祉費		事業名 (施策名)	
	目	1	児童福祉総務費			
	事業名	児童福祉総務費		根拠法令		

## 【事務事業の実施状況】

### III 事業費の推移及び終期

年 度	事業費 (決算・予算)	財源内訳 (単位:千円)				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成 21 年度実績						
平成 22 年度実績						
平成 23 年度実績	366,581	27,310	13,655		3,412	322,204
平成 24 年度実績	354,298	24,749	12,375		25,781	291,393
平成 25 年度当初	371,215	24,467	12,233		31,326	303,189

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
	保育所児童運営費負担金	基準額の1/2	保育所児童運営費負担金	基準額の1/4		

IV 執行状況

執行 状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	保育所定員数(合計)315名 平成25年4月1日現在330名(広域入所含む) 5保育所(園)中2保育所(池田, だいが)が定員超で受入を実施している。
------	---

V 問題点の概要

問題点	児童年齢0, 1, 2歳児が特に保育料無料になった翌年度から増加傾向にある。 保育料軽減措置で, 児童年齢0から3歳児の約半数が第3子のため無料になる。
-----	---

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成 率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
入所児童数	人	300	315	330	315		315	—	315	95.2%
指標に表われない効果										

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に 結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	昼間保育できない児童の保育に努めている。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	保育料無料化の翌年から保育所入所児童の増加傾向が見られる。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは 可能か？ ○コストを圧迫している, 又は増大させている 要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	現在保育料は, 最高額20, 000円無料化前は, 最 高額54, 000円および軽減措置により第3子以降は 保育修了まで無料である。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていない か？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	<input type="checkbox"/> 公平である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input checked="" type="checkbox"/> 公平でない	保育料は, 子どもが第3子以降保育所修了まで無料 である。 同じ年齢の児童でも入所当初から一方は有料, 無料 となる。

II 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 現在の各保育施設において、各保育室面積に適する児童数を最大で決定している。</p>										
<p>【担当所属長意見】 子育て支援対策として有効な施策であり、保護者の負担軽減のためにも継続すべきである。</p>										

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【具体的内容】 子育て支援対策について町内外へのPRを強化すること。</p>										
<p>【備考】</p>										